

## みえ福祉第三者評価結果

### ① 第三者評価機関名

株式会社経営志援

### ② 施設・事業所情報

名称：内部ハートピア保育園	種別：保育所
代表者氏名：園長 増川 鈴美	定員（利用人数）：170名
所在地：三重県四日市市采女町916-1	
TEL：059-347-1577	ホームページ： <a href="https://heartpiahoikuen.jp/syoukai/utube/">https://heartpiahoikuen.jp/syoukai/utube/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：平成30年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 志生会	
職員数	常勤職員：18名 非常勤職員：23名
専門職員	保育士：35名 調理師：3名
	管理栄養士：1名 栄養士：1名
	看護師：1名
施設・設備 の概要	保育室、ほふく室：8室 トイレ：8室
	その他 6室
	床暖房あり 全室エアコン設置

### ③ 理念・基本方針

#### 【保育理念】

「健やかな子どもの育ちをめざして」

#### 【基本方針】

「家庭・地域との緊密な連携」

- ①家庭や地域社会との連携を図り、保護者の協力の下に家庭養育の補完を行う。
- ②子どもが健康・安全・安心で、情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより、健全な心身の発達を図る。
- ③養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成する。
- ④地域における子育て支援のために、乳幼児の保育に関する相談に応じ、助言するなどの社会的役割を果たす。

#### 【保育目標】

「生きる力を育み自立する子ども」

健やかな心と体で、いきいきと生活する子ども

誰とでも、仲良く遊ぶ子ども  
「ありがとう、ごめんなさい」と自分で気づいて言えるこども  
よく見て、聞いて、感じて、考える、創造力豊かな子ども  
何でも、自分でやってみようと意欲のある子ども

#### ④ 施設・事業所の特徴的な取組

- ・自分で考え、自分で判断し、自分で行動することのできる人間づくりをめざした『モンテッソーリ教育』を実施している。
- ・一人ひとりの子どものありのままの姿を受け止め、月齢差や発達の姿を十分に考慮しながら、園生活が豊かな時間となるよう、ゆったりと温かく関わる保育を実施している。
- ・「子どもの心の居場所」となれるような環境を工夫しながら、保育を行っている。

#### ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年10月15日（契約日） ～ 令和3年3月24日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	0回

#### ⑥ 総評

##### ◇特に評価の高い点

園の特長である「モンテッソーリ教育」の徹底は、充実した職員教育と保育室の教具の豊富さからも十分に窺える。また、さらなる保育の質の向上のため、異年齢縦割り保育や声楽を積極的に取り入れたり、伸び伸びと体を動かして遊ぶことができる園庭や、田んぼや畑の栽培や収穫、食べる体験での食育など、子どもが過ごす環境や感性を豊かにするための取組が随所に見られた。

経営面では、理事長の真剣かつ厳しい姿勢が感じられた。理事長のアンテナの感度が高く、経営を意識したマネジメントが行われ、課題の職員全体での共有や改善に向けた具体的な活動が行われている。

保護者とのかかわりでは、日頃のコミュニケーションのほか、毎月の志生会だより等の各種たよりの発信など、保護者の話に耳を傾ける、わかりやすく伝えることを意識した取組が行われている。特に各種たよりは手書きで、子どもの活動や成長の様子が詳細かつ丁寧に書かれており、保護者からは「楽しみにしている」「わかりやすい」の声が見られた。

##### ◇改善を求められる点

中・長期計画は現在策定段階中であり、中・長期的なビジョンの共有と具体的な計画の策定に期待したい。事業計画は、職員が理事長や園長とともに、経営の視点を持って参画し、組織的に策定することが望まれる。

園長のリーダーシップにも今後期待したい。保育の課題の顕在化・評価・分析、職員のモチベーションアップや定着、業務の効率化や働きやすい職場環境づくりな

どについて、リーダーシップを発揮して具体的な活動が行われることに期待したい。

地域との交流や地域への貢献活動においては、開園3年目ということもあり、今後大いに期待したい点である。コロナ禍で交流が難しいが、子どもと地域、職員と地域、園と地域、それぞれで交流活動や連携事業を検討されたい。また、社会福祉法人として、地域の福祉ニーズ等を踏まえつつ、法人の自主性、創意工夫による多様な地域貢献活動を検討されたい。

#### ⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

保育内容に関しては、理事長の指導の元で行ってきた園の特色であるモンテッソーリ教育をさらに充実させるよう、研修、実践、見直しを繰り返して質を高めていく事を今後も変わらず目指して行きたい。ヒヤリハットの取り組みについても、分かりやすい書式で積極的に情報収集を行い、そこから得た気づきを職員間で共有し事故防止の強化を図っていききたい。

課題である人材育成に関しては、職員一人一人の資質を具体的な内容で評価をし、指導を行っていく。また面談では職員の心の声を拾い、やりがいを持って働いていけるようにサポートをし、モチベーションアップ・定着を図っていくようにしたい。

業務の効率化においては、公開保育を重ね、そこでの気づきを迅速に話し合い、働きやすい職場環境を積極的に作り上げていくようにする。

リーダーシップとは何かを考え、自分が主となって動くのではなく、職員の能力を知り、引き出し、業務を任せていく心持ちで職員が一丸となって保育の質の向上を目指す良い集団になっていきたい。

#### ⑧ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。